

平成31年度 かほく市立河北台中学校 学校評価計画書

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準		判定基準	備考 (H30県調査より)
					A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値			
1 ★学力向上ロードマップに基づく確かな学力を持つ生徒の育成	① 河北台授業モデルによる「わかる授業・楽しい授業」づくりの推進	研究企画 全職員	<ul style="list-style-type: none"> 「河北台授業モデル」を元に授業づくりに取り組んできている。効果的な話し合い活動など、より一層充実させていかなければならない。 「授業が分かる」と答えた生徒の割合は平均90%超えているものの、教科や学年によってばらつきが見られる。 	【努力指標】教職員 学習意欲を喚起する課題設定や授業づくりができている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【努力指標】教職員 「話し合い」「まとめ」活動を取り入れた授業づくりができている	A:100% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	発言の機会や話し合う場を設けている(92%)	
				【成果指標】生徒 授業の課題はよく分かる	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【成果指標】生徒 話し合い活動には積極的に参加している。	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
	② 授業における学習基盤の確立(ベル学、終始の挨拶、姿勢、挙手、話し方、聞き方、説明の仕方等)と家庭学習の習慣化を図る指導の工夫	教科部会 全職員	<ul style="list-style-type: none"> 授業ルールの徹底を図っている。特にベル学は定着してきた。 どの学年も課題提出状況は概ね良好だが、今後も指導の徹底が求められる。 家庭学習の質、量ともに改善を要する。週間課題の充実を図っている。 課題の出し方や示し方に工夫をしていかなければならない。 	【努力指標】教職員 授業において、しっかりと礼、返事、聴き方、大きな声などの学習規律を定着させている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	学習規律の指導をしている(98%)	
				【成果指標】生徒 授業では、しっかりしたあいさつ、姿勢、聴き方などを心がけている	A:90% B:±5%内(88%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【努力指標】教職員 生徒の家庭学習の定着及び充実に向けた具体的な方策を講じている	A:95% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	家庭学習の方法を教えている(84%)	
				【成果指標】生徒 自分で計画を立てて勉強している	A:75% B:±5%内(72%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
	③ 基礎的・基本的な内容の定着と活用力(思考力、判断力、表現力)の向上を図る指導の工夫	全職員	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査を分析して得た改善策を踏まえて、授業を実践していかなければならない。 	【努力指標】教職員 各種テストの分析に基づき、学力補充や授業改善などの方策を講じている	A:90% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【成果指標】生徒 授業がわかりやすい	A:95% B:±5%内(92%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
	④ 校内研修会の充実(講師を招聘した授業研究の実践)	研究企画	<ul style="list-style-type: none"> 会の内容を工夫し、若プロと校内研究を連動させながら進めていくこととしている。 	【満足度指標】教職員 充実した校内研修会ができている	A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:90%未満	C又はDの場合、再検討		
				【努力指標】教職員 道徳の授業を確保し、道徳心や人権意識など心の教育に努力している	A:100% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
【満足度指標】生徒 道徳の時間で自分の日頃の考え方や行動を振り返ることができている				A:90% B:±5%内(88%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討			
【努力指標】教職員 体験活動が豊かになるように取り組んでいる				A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:90%未満	C又はDの場合、再検討			
2 道徳教育や体験活動等を通じた豊かな心を持つ生徒の育成	① ★道徳教育や人権教育の推進(「特別な教科 道徳」授業の充実)	道徳推進教師 学年会 学担	<ul style="list-style-type: none"> 教科化となった道徳を充実させていかなければならない。 	【満足度指標】保護者 お子様は、将来の夢や目標を持っている	A:70% B:±5%内(63%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【満足度指標】生徒 自分には良いところがあると思う	A:80% B:±5%内(74%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
	② 職場体験など体験活動と進路指導(キャリア教育)の充実(将来の夢と三年間の見通し)	学年会 進路指導主事 学担	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の校外活動の計画が充実している。学校CNとの連携を強めていきたい。 夢や目標を持っている生徒の割合は決して高くない。 	【努力指標】教職員 生徒にボランティア活動の積極的な参加を促すなどの推進に努めている	A:90% B:±5%内(78%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【成果指標】生徒 委員会活動(生徒会)や学級活動に積極的に参加している	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
	③ 生徒会活動の活性化及び日常的ボランティア活動の推進	生徒会担当	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人宅訪問などが行われてきた。より良い継続に努めていかなければならない。 	【努力指標】教職員 生徒にボランティア活動の積極的な参加を促すなどの推進に努めている	A:90% B:±5%内(78%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		
				【成果指標】生徒 委員会活動(生徒会)や学級活動に積極的に参加している	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準		備考 (H30県調査より)
					A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値	判定基準	
	④ 読書活動の推進(図書館司書との連携、図書ボランティアの活用)	図書館司書 図書館担当 学担	・貸し出し冊数は十分とはいえない。図書便り等を活用して充実させたい。	【努力指標】教職員 読書の充実・図書館の活用に努力している	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】生徒 様々な機会を通してできるだけ本に親しんでいる	A:80% B:±5%内(73%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【満足度指標】保護者 お子様は、読書に親しんでいる	A:60% B:±5%内(48%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
3 ★心身とも健康である生徒の育成	① 食に関する指導の推進	栄養教諭 全職員	・給食便りやPTA総会でも保護者に朝食の大切さを訴えた。今のところ給食の残食も少ない。	【努力指標】教職員 食育に関する指導・啓発に努めている	A:100% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】生徒 朝食を毎日食べている	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】生徒 給食は残さず全部食べている	A:95% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】保護者 お子様は、朝食を毎日食べている	A:95% B:±5%内(93%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
	② たくましい心を育成する部活動の活性化と体力、運動能力の向上のための取組推進	生徒指導主事 部活動担当 部顧問 学校CN	・部活動に前向きに取り組んでいる生徒が多い。 ・体力に二極化が見られる。	【努力指標】教職員 部活動で生徒は意欲を高め、充実した活動に取り組んでいる	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】生徒 部活動や校外活動に高い目標をもって意欲的に取り組んでいる	A:95% B:±5%内(87%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】保護者 お子様は、部活動や校外活動に進んで参加している	A:95% B:±5%内(91%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【成果指標】生徒 体力テストのA及びBランクの割合	A:70% B:±5%内(55%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
4 ★積極的生徒指導のより一層の推進	① 生徒指導の三機能を生かした積極的な生徒指導の推進 →学校生活のあらゆる場面で三機能を生かした取組の創意工夫 →人間関係づくりを基盤とした学級経営の充実(構成的グループエンカウンター授業実践、Q U調査も含めた生徒理解、存在感を高める集団づくり) →いじめ、不登校対策の充実(未然防止、早期発見と早期対応、各種調査の実施と迅速な対応、「いじめ対応マニュアル」に基づく対策と対応の推進)	生徒指導主事 全職員	・教室へ早く行くなど、生徒とのコミュニケーションを努めて取るように心がけている。 ・休み時間等の見守りを大切にしている。 ・生徒の挨拶はこれまでより上昇傾向がうかがわれる。教職員の方からも積極的に挨拶することに努めている。 ・保護者と連携して、学校のきまりを守るという規範意識を高めていかなければならない。 ・生徒指導の対応については、個ではなく学年など、組織的に行っている。	【努力指標】教職員 生徒理解を大切にし、生徒との信頼関係の構築ができています	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【満足度指標】生徒 自分の思いや悩みを聞いてくれる友だちや先生がいる	A:95% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【満足度指標】保護者 学校は、お子様をよく理解し、指導している	A:90% B:±5%内(80%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【努力指標】教職員 生徒の「あいさつ」などの基本的生活習慣の定着を図るための取り組みに参加している	A:100% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	挨拶するよう指導している(96%)
				【成果指標】生徒 河北台中のきまり(校則)を守っている	A:100% B:±5%内(97%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【満足度指標】保護者 お子様は、学校のきまりを守っている	A:100% B:±5%内(92%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【努力指標】教職員 問題発生時、関係職員への「報・連・相」など組織的かつ迅速な対応をしている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				【満足度指標】保護者 学校は、危機管理や健康安全に留意し、生徒の安全を守るための取組を行っている	A:95% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
				② 小学校との積極的な連携(授業・部活動体験、出前授業、学校訪問など)	主任会	・部活動体験や出前授業など多くの取組が行われている。	【満足度指標】教職員 小中連携の内容が充実している
③ 教育相談体制の充実 →支援が必要な生徒、不登校生徒への具体的な対策と実践(個別記録の	教育相談担当 全職員	・支援のための記録の工夫が求められる。	【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討		

	重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考 (H30県調査より)
						A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値		
5	特別に支援が必要な生徒への指導の充実(特別支援教育の充実)	① 支援が必要な生徒の共通理解と指導及び保護者との連携の強化	特別支援CN 学担	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解研修会等で共通理解が図られている。保護者との連携を強めていきたい。 特別に支援が必要と思われる生徒が増えてきている。きめ細かい支援体制が求められる。 	【努力指標】教職員 生徒理解研修会などをもとに支援が必要な生徒と適切に関わった 【努力指標】教職員 保護者の協力が得られるよう家庭との連絡等の情報交換は確実にしている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
		② コーディネーターを中心とした研修体制の充実と地域支援室や巡回相談など関係機関との連携	特別支援CN 主任会 教頭	<ul style="list-style-type: none"> 十分な知識を持ち合わせているコーディネーターを中心に周知されてきている。 今後もスマイルとの連携を図っていきたい。 	【努力指標】教職員 生徒の障害の程度やつまりまぎに応じた適切な関わり方ができている 【努力指標】教職員 地域支援室など関係機関が有効活用されている	A:100% B:±5%内(100%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下 A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満	C又はDの場合、再検討	
		③ ★教職員の働き方改革推進	管理職 教務 主任会	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間の年平均 H29;82.9時間 H30;65.2時間 80時間を超過している職員の割合が高い。 昼時間を活用したミニ会議を活用している。 	【成果指標】教職員 勤務時間外時間の比較	A:月80時間ゼロ B:H29より20%以上減 H30より10%以上減 C:H29より10%以上減 H30より5%以上減 D:C基準未満	C又はDの場合、再検討	
6	開かれた学校づくりと働き方改革	① コミュニティー・スクール制度の積極的な活用	学校CN 教頭 教務	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員と共に協力していく体制ができている。 	【満足度指標】教職員 コミュニティー・スクール制度が有効活用されている	A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満	C又はDの場合、再検討	
		② 学校便りやホームページ等を通しての積極的な情報発信	広報担当	<ul style="list-style-type: none"> HPの担当者を増加し、充実を図っていきたく考えている。 配布物が確実に届くように、「持ち帰りファイル」を活用している。 	【成果指標】生徒 学校からの各種「○○たより」などの配布物は、確実に家の人に渡している 【成果指標】保護者 学校だよりや学年だより、ホームページ等で、学校の指導方針や子どもたちの様子などがわかりやすく伝わっている	A:90% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下 A:95% B:±5%内(95%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	C又はDの場合、再検討	
		③ ★教職員の働き方改革推進	管理職 教務 主任会	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間の年平均 H29;82.9時間 H30;65.2時間 80時間を超過している職員の割合が高い。 昼時間を活用したミニ会議を活用している。 	【満足度指標】保護者 学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる 【成果指標】教職員 勤務時間外時間の比較	A:80% B:±5%内(69%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下 A:月80時間ゼロ B:H29より20%以上減 H30より10%以上減 C:H29より10%以上減 H30より5%以上減 D:C基準未満	C又はDの場合、再検討	